

# ARTS for HOPE 活動報告書

2013年4月24日～26日

①4月24日／岩手県上閉伊郡大槌町 吉里吉里第2・第3仮設団地  
「Happy Doll Project」の実施



地域支援員たちが定期的に行うラジオ体操で一緒にリフレッシュした後は、楽しくおしゃべりしながら世界でたった一つのハッピードールを作りました。「人生の最後が、最悪の状態になってしまった。もう、なんにもする気が起こらない。」と、重たい表情だった方も、紅白の雪だるまが出来上がって最後はにっこり。絶望している方々の心の中に、いつか小さな希望のともし火が点るまで、これからも通い続けたいと思いました。



②4月24日／岩手県上閉伊郡大槌町 小槌仮設団地

「Happy Doll Project」の実施

比較的小規模の仮設住宅集会所に、楽しみにしていた住民が次々訪れ、男性も複数参加。「俺はやらねえ。」と最初ぼーっと座っていた男性も、スタッフとイカを作り始めたら目が生き生き！最後は絶好調でおしゃべりしていました。すべて流された住居跡に、カエルの置物たった一つだけが残っていたという女性は、『カエルが人生の守り神』とばかり、カエルの作品を作っていました。



③4月25日／宮城県仙台市 のびすく仙台  
「Happy Painting Project」の実施

就学前の幼児と保護者が遊びに来るコミュニケーションスペース『のびすく仙台』で、初めての色あそびプログラムを実施しました。お絵描きも、大きな紙に描くのも、他のお友だちと遊ぶのも初めて、という子どもたちは、最初はこわごと、やがては大胆に、夢中になって、色の世界を探検していました。子どもたちみんなで仕上げた作品の美しさに、保護者の皆さんもびっくり！  
「こんなステキな作品が生まれるなんて～」と、感嘆していました。



④4月26日／福島県南相馬市 牛越仮設住宅  
「Happy Doll Project」の実施

訪問6回目となったおなじみの仮設住宅では、病気や介護、心配事などざっくばらんにしゃべりあえる気晴らしの場になってきました。震災後2年が経ち、先行きの不安から最近気分が落ち込むようになってきたという方も、和やかな表情になりました。これから続く長い復興を、ともに支えあうコミュニティ作りに私たちも役立っていければと、改めて思いました。

